



こんにちは

村田 けい子

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56)

2019.9.8

No. 217

9月議会より

【全員協議会より】

「蓼科高校の募集定員を減らさないで」 9月11日に県教委に要望書提出の予定

*9人の議員が質問します。傍聴においでください。
ライブ中継も行われます。ぜひご覧ください。

【一般質問】9月9日(月) 10:00~

1、中島 健男 議員

- ①『小中統合一貫教育』を検討しては
- ②『福祉避難所』の設置について



2、今井 清 議員

- ① 立科町の防災対策について
- ② 健康寿命を延ばすために

3、中村 茂弘 議員 13:30~

- ① 景観条例について
- ② 屋外広告物条例について
- ③ 遊休町有地の現状は



4、田中 三江 議員

- ・ 公共交通について

5、瀧澤 壽美雄 議員

- ・ 白樺高原地域整備計画について

◎ 9月10日(火) 10:00~

6、村田 桂子 議員

- ① 町長の政治姿勢を問う
- ② 索道事業について
- ③ 交通政策について

7、芝間 教男 議員

- ・ 防災訓練のあり方について



8 今井 英昭 議員

- ① 立科町第5次振興計画後期基本計画策定の基本方針について
- ② 循環型社会とSDGs(持続可能な開発目標)推進の取り組みは

9 榎本 真弓 議員

- ① 義務教育期間の通学費について
- ② 公共施設等総合管理計画・個別施設計画の策定について

長野県第6区の高等学校校長会において、1クラス削ることを受け入れた蓼科高校。その言動に衝撃が走り、蓼科高等学校教育振興協議会(会長 両角正芳)「蓼科高校の入学者募集定員を3クラス120名の堅持を」と要望書を9月11日に提出予定であると報告を受けました。同振興協議会は同窓会長・立科町長・佐久市長だけでなく長和町・上田市長など関係首長、立科町正副議長・2つの常任委員長、また3区選出の県会議員も名を連ねる幅広い団体です。

要望書の中では、蓼科高校がいかに地域に根差した大切な高校であるかだけでなく、「蓼科学」や進学コースなどきめ細かな特色ある教育で長野県で唯一「キャリア教育優良学校」として「文部科学大臣賞表彰」を受けたこと、また、町が通学バス運行や公設塾「ポプラアカデミー」の開設、生活指導支援員の派遣、町より数学の常勤講師の配置、数学における中高連携授業の実施など、町を挙げて支援していることをうたい、「多様な学びの仕組みの整備充実の一翼を担う高校」として「現状維持の120人3クラス維持がぜひ必要であると考え、ここに強く要望する次第です」としています。定数減は廃校への一里塚。運動で跳ね返しましょう。



サギの住む町

今週のパチリ

晴れた野原では、このところシラサギが多くみられるようになりました。農薬の使用などが減っているのでしょうか。田んぼのカエルやザリガニなどをついばんでいるのでしょうか。豊かな自然のシンボルですね。

